

～ 身近な生き物を見つけよう ～

さっぽろ生き物さがし2020

★ さっぽろ生き物さがし2020について

札幌市では、毎年春から秋にかけて、市内の自然環境の状況を把握するために、指標となる生き物を市民みんなで調べる「**一斉調査**」を実施しています（2015年から継続実施）。2020年は前年同様に5月中旬にスタートする予定でしたが、新型コロナウイルス対策のための緊急事態宣言が出された影響で、6月まで開始が延期されました。しかし、他の多くのイベントが自粛・中止となる中で、大変多くの申し込みをいただきました。

● 今回の調査対象の生き物たち ●



★ 調査結果の概要について

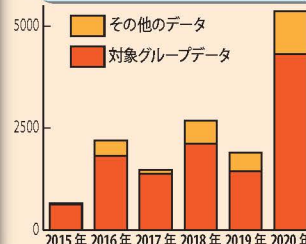
これまでで最大の参加者だった前年の倍以上の応募・参加となり、**324チーム**、約**1,376名**もの方から結果報告があり、**5,370件**（対象種4,311件）のデータが得られました。

調査した地区数は**387地区**となり、市内の市街地はほぼ全て調査することができました。

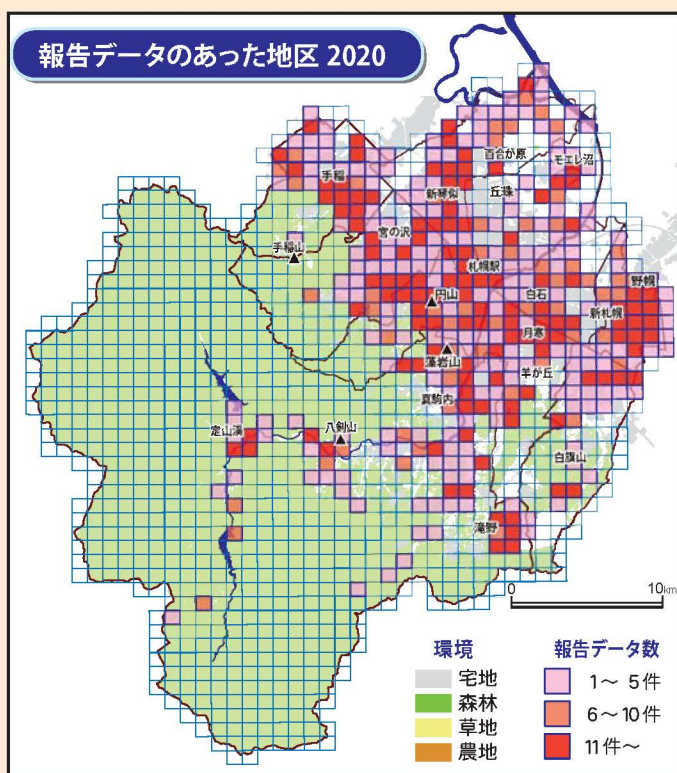
今回の調査の概要

- 調査期間 2020年6月19日～9月30日（当初開始日の5月22日から変更）
- 対象範囲 札幌市内（1キロメッシュ数1,192）
- 報告者数 324チーム（申し込み785チーム）
- 調査報告数 データ数5,370件
- 調査地区数（1キロ四方単位）387地区（市内の32%）

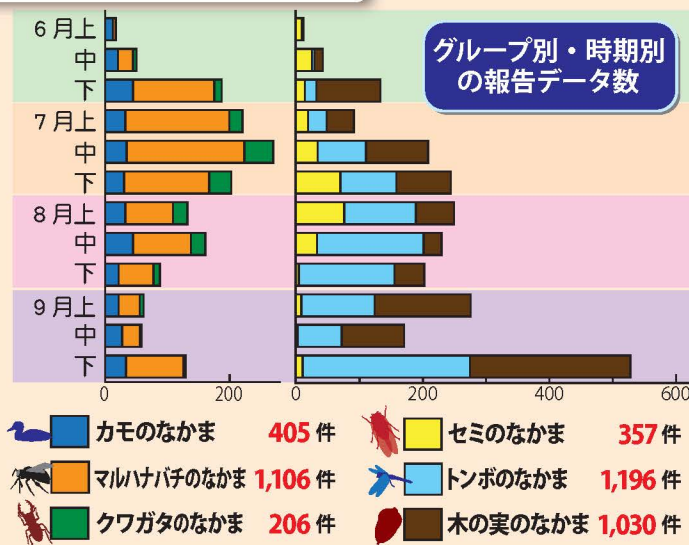
これまでの報告データ数



報告データのあった地区 2020



グループ別・時期別の報告データ数



今回もっとも多く報告があったのはトンボのなかまで、次いでマルハナバチのなかまと木の実のなかまでした。

季節別に見ると、マルハナバチやクワガタは7月、セミのなかまは7月下旬から8月、木の実のなかまは9月に多くの報告がありました。今回は夏から秋にかけて見つけやすい対象種も多かったため、期間中まんべんなく報告がありました。

トンボのなかま

種名	地区数	データ数
・アキアカネ	160地区	466
・ノシメトンボ	87地区	153
・ナツアカネ	54地区	74
・ミヤマアカネ	25地区	42
・シオカラトンボ	62地区	93
・シオヤトンボ	11地区	13
・オニヤンマ	24地区	49
・オオルリボシヤンマ	21地区	37
・ルリボシヤンマ	13地区	22

今回はたくさんの情報が集まったことで、多くのトンボが山地から平野まで広く分布していることが分かりました。トンボ科の仲間（アカトンボやシオカラトンボ）は飛ぶ能力が高いため、成虫になると、幼虫（ヤゴ）がすむ川や池から遠く離れた場所でも見られるようになります。報告でも自宅の庭など市街地で撮影された写真が多数ありました。また、以前市内では見られなかったショウジョウトンボ（アキアカネより少し大きい真っ赤なトンボ）も今回確認されています。移動する能力が高いことと、気象変動の影響で分布が北上してきていて、市内でも見かける頻度も増えてきています。

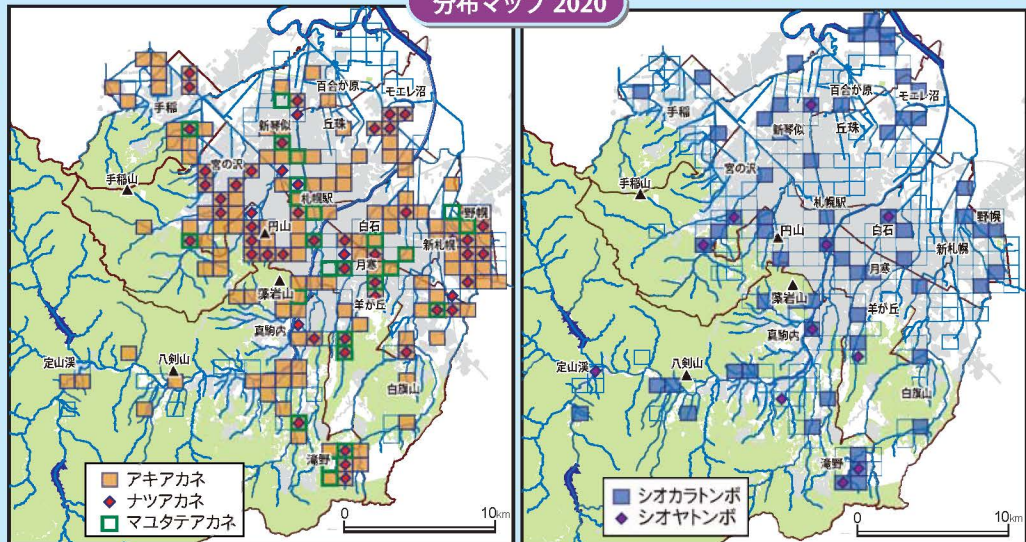


シオカラトンボ (チーム8810)



ショウジョウトンボ (ひなSUNZ)

分布マップ 2020



ミヤマアカネ (やまごん)



オオルリボシヤンマ (サム・ローン)

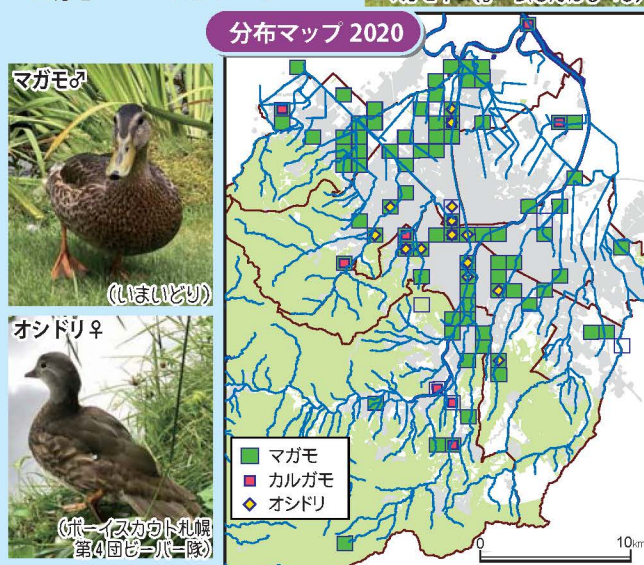
カモのなかま

種名	地区数	データ数
・マガモ	83地区	296
・オシドリ	14地区	65
・カルガモ	12地区	14
・コガモ	5地区	3



マガモ♀ (チームさんたるべつ)

分布マップ 2020



マガモ♀ (いまいどり)



オシドリ♀ (レイズカウト札幌第4回ビーバー隊)

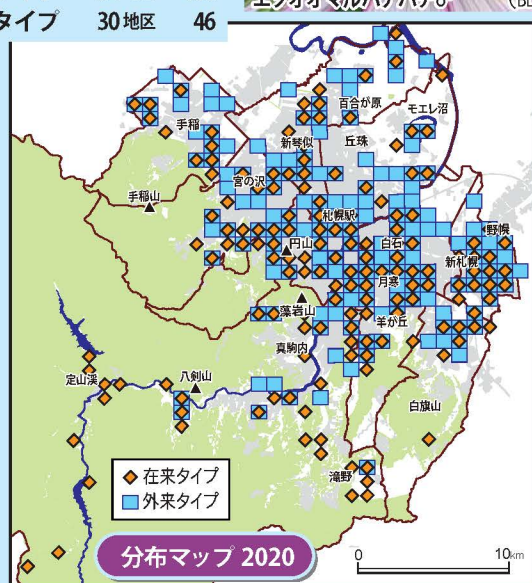
前回の2017年から報告数が大幅に増え、マガモとオシドリは2倍以上の地区で確認されました（32⇒83、6⇒14）。マガモは広く確認されていますが、オシドリは平野部の池がある場所で確認されています。カルガモはマガモの誤認が多く、以前より確認が減っていて、今後注目する必要があります。

マルハナバチのなかま

種名	地区数	データ数
・外来タイプ	173地区	511
・三色タイプ	103地区	235
・黄色タイプ	70地区	141
・灰色タイプ	54地区	130
・赤色タイプ	30地区	46



エゾオマルハナバチ♀ (BLACK)



分布マップ 2020

マルハナバチにとって棲みやすい環境は山間部ですが、市街地も庭や公園に植えられた花が生活を支え、在来種も多く見られます。一方、農業地帯や郊外は環境がやや単調で、外来のセイヨウだけが確認されている地区が多くあります（71地区）。



セミのなかま

種名	地区数	データ数
・エゾハルゼミ	47地区	92
・エツゼミ	21地区	40
・コエツゼミ	25地区	37
・アカエツゼミ	2地区	2
・エツゼミ類	26地区	39
・アブラゼミ	28地区	65
・ツクツクボウシ	9地区	18
・ミンミンゼミ	3地区	3
・ニイニイゼミ	1地区	1



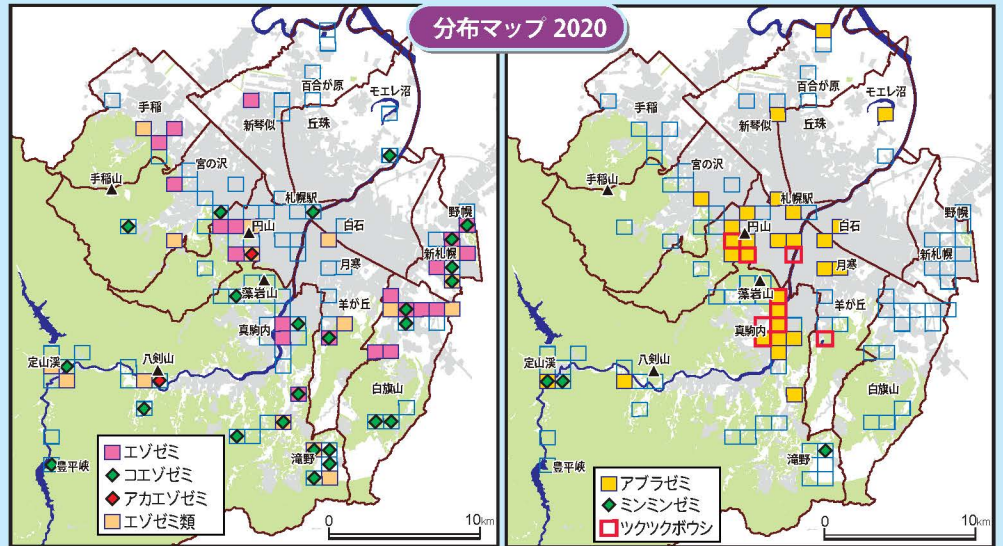
エツゼミ (白石ミルキーウェイ)



アブラゼミ (グリーンサドウゴウ)



エゾハルゼミ (いまいどり)



アブラゼミ



ツクツクボウシ (K88)

2019年より開始日が遅くなり6月にずれ込んだため、エゾハルゼミの報告数は6割程度に減りましたが、夏のセミについては報告が2.5倍に増加しました。特にアブラゼミの報告は3.5倍以上で、確認地区も中央区周辺を中心に増加しました(13→26)。

エツゼミ類では今回はコエツゼミがやや多く、特に南部で多く確認されました。



クワガタのなかま

種名	地区数	データ数
・ミヤマクワガタ	50地区	87
・スジクワガタ	33地区	47
・コクワガタ	26地区	32
・アカアシクワガタ	15地区	16
・ノコギリクワガタ	10地区	12
・カブトムシ	6地区	6
・オニクワガタ	2地区	2



ミヤマクワガタ (ぼんたず)



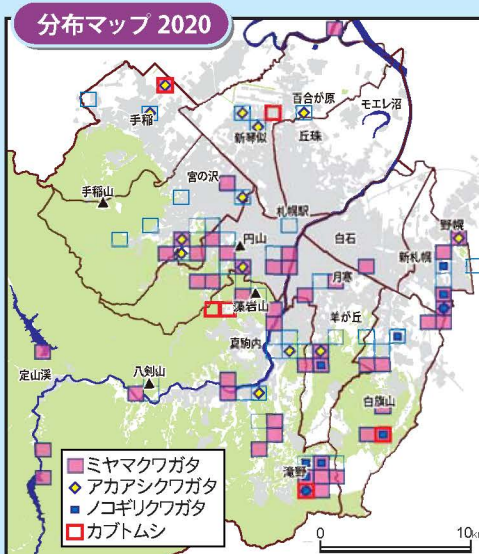
アカアシクワガタ (ヒロムシ)



スジクワガタ (K 88)

クワガタのなかまは、森林のある山や丘陵地で確認されています。その中で、アカアシクワガタは北部の平地でも確認されていますが、これは川沿いに生えているヤナギ類の樹液を好んで集まっているためです。

外来種のカブトムシは確認場所は少ないですが、北から南まで広範囲で確認されました。落ち葉の堆肥場など幼虫が冬を越せる人工的な環境が市内の各所にあると考えられます。



木の実

種名	地区数	データ数
・ミズナラ	92地区	195
・コナラ	20地区	28
・カシワ	20地区	36
・オニグルミ	87地区	135
・ホオノキ	28地区	42
・キタコブシ	21地区	26
・ヤマグワ	82地区	222
・カツラ	29地区	163
・ツリバナ	52地区	85
・ツノハシバミ	4地区	4

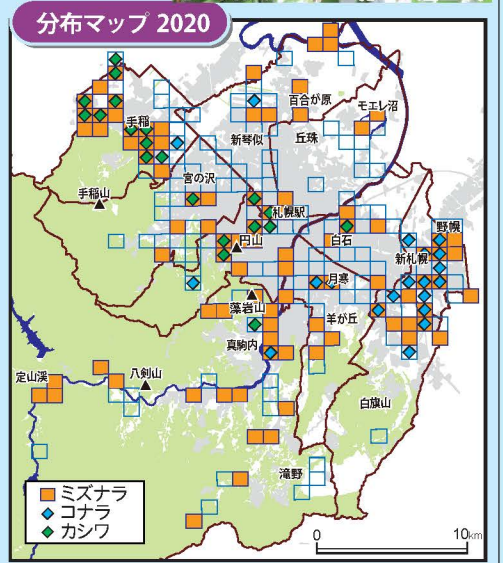


コナラ (チームバッキー)



オニグルミ (チーム白土家)

どんぐり3種のうちコナラは、厚別区と清田区に偏って確認されています。今の支笏湖にあった火山が大昔大噴火し、札幌まで火砕流が大量に押し寄せ、この地域に厚く積もりました。コナラはこのような場所によく生える特徴を持っています。



カシワは、手稲区の海の近くのほか、藻岩山から手稲山にかけての山すそに点在しています。カシワは海とつながりが深く、山麓部に縄文時代に海岸線があった名残りと考えられます。

★ 参加チームのランキング発表！

今回参加いただいたチームの報告数ランキングを発表します。上位チームには、限定グッズをお送りします。今回もたくさんの方の報告、写真をありがとうございました。

報告数（今回対象のグループ）ランキング

※new は今回初参加チーム

チーム名	報告 データ数	報告 地区数	参加 人数
1 チームさんたるべつ	307	45	12
2 チーム龍 new	303	16	3
3 チームカーブ	285	44	4
4 生き物好きの某職員	230	35	1
5 やまごん	190	28	4
6 ゴッドファイヤーズ new	158	26	3
6 ヘビーまめさんず	158	12	5
8 チームバッキー new	139	33	4
9 チーム白土家	121	20	3
10 白石ミルクウェイ new	108	27	4

チーム名	報告 データ数	報告 地区数	参加 人数
11 すずなお	82	8	2
12 あまちゃん	78	29	1
13 足腰衰エーズ	77	24	5
14 いまいどり	65	9	4
15 チーム K88 new	59	22	3
16 しぜん楽しみ隊	55	12	5
17 ラララッキー	45	3	3
18 ゲンゴロウ	43	12	1
19 チームしぜん new	42	15	9
20 パウムクーヘン	41	4	3



アキアカネ (いまいどり)



エゾオオマルハナバチ (チームカーブ)

★ 写真をありがとうございました！ コンテストの結果発表！

参加者の皆さんには今回も多くの写真をお送りいただきました。事務局選考により選ばれた次の10点の写真について、「バーチャル環境広場さっぽろ2020」(1/9~14)におけるウェブ展示会で人気投票を行い、ベスト3を決めました!! (総投票数: 62票) 1位はゲンゴロウチームのミヤマクワガタでした!



今回特に多くの写真が寄せられたのは以下の種でした!

- 1位 セイヨウオオマルハナバチ...234点
- 2位 マガモ199点
- 3位 アキアカネ176点
- 4位 ヤマグワ166点
- 5位 ミズナラ127点



1位: ミヤマクワガタ (ゲンゴロウ)



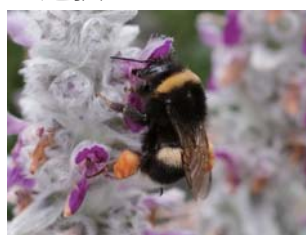
2位: オシドリ (チームさんたるべつ)



3位: マガモ (ヒロムシ)



エゾオオマルハナバチ (スカイブルー)



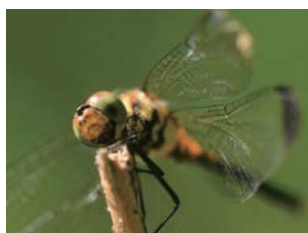
セイヨウオオマルハナバチ (かみなり)



アキアカネ (チーム龍)



エゾハルゼミ (ウーボボ)



ノシメトンボ (旭山森と人の会)



ミズナラ (藻岩山きのご観察会)



ツリバナ (チームカーブ)

★ おわりに

2020年の「さっぽろ生き物さがし」は、新型コロナウイルスの影響がさまざまな分野において出ている中での開催となりました。開始が1か月遅れる影響があったものの、大変多くの方に申込みいただき、新しい縁ができました(今回が初めてのチームが8割!). 今後も札幌市では、対象グループを変えたり手法を改善したりしながら調査をつづける予定です。参加や周囲への声かけをよろしくお願いいたします。今回もセミ類は札幌市博物館活動センターの調査事業と連携して、北海道大学農学部の神戸崇さんのご協力を得たほか、両生類の情報は北海道爬虫両棲類研究会のハーブソンHokkaidoに提供しました。ご協力、感謝申し上げます。

■監修・協力・写真提供 神戸崇・徳田龍弘・堀 繁久・道川富美子



札幌市の生物多様性PRキャラクター「カッコー先生」

○さっぽろ生き物さがし2020事務局 (さっぽろ自然調査館内)

〒004-0051 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45山岸ビル
電話 011 (892) 5306 ファクス 011 (892) 5318 (担当: 渡辺・丹羽)

○主催 札幌市環境局環境共生担当課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階
電話 011 (211) 2879 ファクス 011 (218) 5108

✉電子メール sapporo-ikimono@cho.co.jp

ウェブサイト <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/chosa/02chosa.html>



発行: 2021年2月



さっぽろ市
02-J02-19-2473
31-2-1597